

約30名集まりオープンセミナー

関西例会

日本青年会議所保険部会

2010年度日本青年会議所保険部会(松本一成部会長)は、4月16日午後3時半から、大阪市北区のユースツウで関西例会オープンセミナーを開催した。当日は、全国の同会議所部会員ほか兵庫県の豊岡からも一般のブローカー等が参加しており、約30名が集まった。

最初に松本部会長が登壇し、同会議所保険部会の基本理念や活動内容を報告、また年4回例会を開催して活発に活動していることなどを伝えた。続いて榎ブレインマークスの安東邦彦社長が、「保険代理店が顧客に選ばれるための「情報提供型」営業実践セミナー」というテーマで講演を行った。安東氏は、通信販売会社を起業し成長させた後、ITベンチャーの

役員を経て「保険と保険営業の社会的価値研究会」を主宰する同社を設立した。非対面の販売方法の研究や、ウェブ活用で商品を売る仕組み等を研究後、保険代理店のブランド化や営業の組織化を提唱しており、当日は、HPの有効活用とともに、保険を売るという大前提の一要素として、代理店の個性を重視する「プレセル(事前販売)」

が必要と話した。マーケティングに関するノウハウを追求して同氏がこれまでに行ったセミナーの回数は1000回を超えている。

なお、保険部会では、9月15〜18日の海外ミッションとしてハワイホールの日系最大手保険代理店での研修を予定。



挨拶する松本部会長



講演する安東 邦彦氏